

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 3	多様な担い手を育成する
重点施策ID	重点施策名
4 - 1 - 3 - 1	力強い担い手づくり

2. 事業名等			
事業名	低コスト肉用牛大規模経営体育成事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名		実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市		④ ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 (事業費補助)
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	大分県畜産生産振興対策事業費補助金交付要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)		豊後大野市農業振興計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 従来から間伐材等を活用した低コストな畜舎の建設や改造等が行われ、規模拡大に向け取り組んできた。現在管内での飼養農家戸数は387戸で5頭以上飼育農家は全体の約40%(158戸)と全体の半分以上が5頭以下の農家である。今後の振興計画として現状頭数を維持するには、158戸の農家に4頭以上の増頭を推進するか、20頭規模農家を30戸推進することが必要となる。	補助事業	名称	肉用牛経営活性化施設整備推進事業費(低コスト肉用牛大規模経営体育成事業)
		補助率	国 県 その他 1/ 1/ 3 1/
	起債の類	① ② ③	

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】 効率的・省力的な肉用牛生産を行うため、間伐材等を活用した低コストな畜舎の建設や改造等に助成することにより肉用牛農家の経営強化を図る。	【対象】 肉用牛繁殖経営者	[条件]3年間で以下の増頭計画を有する農業者(補助率:県1/3以内 市1/6) 20頭未満の農家が10頭以上及び20頭規模以上の増頭。 20頭以上の農家が現況飼養頭数の20%以上及び10頭以上の増頭。 繁殖雌牛導入については、年間5頭以上の増頭を図り計画年度内に50頭規模以上へ拡大 [補助対象]畜舎、パイプハウス畜舎、飼料庫、堆肥舎、省力化機械整備、繁殖雌牛導入 [経費上限]牛舎整備1㎡18千円、パイプ1㎡12千円、牛舎改造1㎡9千円	
		前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
	E		
	維持		

4. 予算・決算の状況 (単位:千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金		6,725	3,121	3,264	2,560	3,300	
	地方債							
	その他							
	一般財源計		4,889	1,567	1,632	1,280	1,700	
	計		11,614	4,688	4,896	3,840	5,000	
決 算	国庫支出金							
	県支出金		6,725	3,121	3,264			
	地方債							
	その他							
	一般財源計		4,889	1,567	1,632			
	計		11,614	4,688	4,896			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 畜舎 : 8棟 堆肥舎 : 5棟	【実績】 畜舎 : 7棟 堆肥舎 : 1棟	【実績】 畜舎 : 4棟 堆肥舎 : 2棟 導入 : 25頭	子牛の生産性向上や繁殖管理の徹底の推進も必要である。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値												
活動指標	補助額											
効率指標	-											
成果指標	① 20頭規模拡大戸数 ② 規模拡大戸数											単位 戸
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考					
種別				① ②	① ②	① ②	① ②	① ②	① ②	① ②	① ②	
目標値				2 5	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5	
実績値				2 5	3 4							
達成率				100.0% 100.0%	100.0% 80.0%							
備考												

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	肉用牛振興のため、飼養頭数の維持・拡大を推進する必要がある。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	県事業であり、市としても取組む必要があるため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	施設整備に係る経費の一部を行政が補助しており、代替手段が少ない。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	肉用牛農家の規模拡大にきわめて高い効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	今後も同程度の施設整備が見込まれるため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	肉用牛振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	